

上信越自動車道 北野牧工事の概要

北野牧工事は、上信越自動車道の松井田妙義IC～碓氷軽井沢IC間に位置する北野牧トンネル（長さ190m）の長野側坑口上に存在する高さ約70m、平均傾斜角70°の岩塊約95,000m³を掘削し除去する抜本的な落石対策工事です。

平成29年から工事を開始し、掘削を行うための運搬路として仮栈橋及びインクライン（ダンプトラック用のエレベーター）、掘削時の安全対策としてロックシェッド（高速道路上の仮設の屋根）やロックボルト（岩塊からの落石を防止するために打設する鉄筋）などの設置・施工を行いました。令和5年5月より、本格的に掘削を開始し全ての工事が完了するのは令和11年を予定しています。



高崎側からの施工状況



長野側からの施工状況